



2007年(平成19年)3月期
決算説明会

2007年 5月

ケンコーマヨネーズ株式会社



目次

	ページ
1. 2007年(平成19年)3月期の概況 及び2008年(平成20年)3月期の業績予想	… 2
2. 経営成績の推移及び今後の経営戦略について	… 13



1. 2007年(平成19年)3月期の概況
及び2008年(平成20年)3月期の業績予想

(1) 経営成績



< 連結 >

(単位: 百万円)

	2007年3月期	2006年3月期	増 減	前年同期比
売上高	50,317	50,079	237	100. ⁵ %
営業利益	2,619	2,560	58	102. ³ %
経常利益	2,534	2,533	0	100. ⁰ %
当期純利益	1,714	1,322	392	129. ⁷ %

< 単体 >

(単位: 百万円)

	2007年3月期	2006年3月期	増 減	前年同期比
売上高	42,310	42,231	79	100. ² %
営業利益	2,076	2,191	114	94. ⁸ %
経常利益	2,043	2,190	147	93. ³ %
当期純利益	1,215	914	300	132. ⁹ %



< 連結経営成績の概況 >

1. 売上高(前年同期比 100.5%)

中期経営3ヵ年計画『DASH SALAD』における売上高目標600億円に向け、具体的な行動計画の策定及び推進の為に、社内CFT(クロス・ファンクショナル・チーム)を分野別、品目別に発足させ、各々の課題解決への取組みを進めております。

当期における売上高は前期と比べほぼ微増にとどまりましたが、このCFTの活動が当期下期より成果として表れてきております。

CFT = 従来の縦割り組織に横軸を通した形でプロジェクト・チームを発足させ組織全体で改善策等を検討する部門横断型組織。



2. 経常利益(前年同期比 100.0%)

当社グループにおける主要な原料であるサラダオイルの下期からの価格上昇による収益圧迫があり、中間期では増益でありましたが、通期ベースでは前年並みの利益水準となりました。

3. 当期純利益(前年同期比 129.7%)

今期の大きな特殊要因としては、関連会社の再編が完了した事に伴い、法人税戻し処理が3.2億円ありました。

(2) 財政状態 < 連結 >

(単位:百万円)



		2007年3月期	2006年3月期	増減	前年 同期比
資産の部	流動資産	15,247	12,667	2,579	120.4%
	固定資産	13,407	12,968	438	103.4%
< 資産の部 合計 >		28,654	25,636	3,018	111.8%
負債の部		20,545	19,062	1,483	107.8%
	(うち有利子負債残高)	7,783	7,791	7	99.9%
少数株主持分			47		
資本の部			6,526		
	(うち少数株主持分) *注1	49			
< 純資産の部 合計 >		8,109			
< 負債・純資産の部等 合計 >		28,654	25,636	3,018	111.8%

*注1 新会社法施行に伴い、少数株主持分が純資産の部へ含まれる事となったことによる表記変更

連結キャッシュフローの状況

(単位:百万円)



	2007年3月期	2006年3月期	増減	前年同期比
営業活動によるCF	3,048	2,732	316	111.6%
投資活動によるCF	1,788	393	1,395	455.0%
財務活動によるCF	171	3,653	3,481	4.7%
現金及び現金同等物による期末残高	3,207	2,114	1,092	151.7%

1株当たり純資産	718円00銭	578円60銭	139円40銭	124.1%
株価(期末時点) *注2	1,139円	941円	198円	121.0%
PBR (株価純資産倍率)	1.58倍	1.62倍	0.04倍	97.5%

*注2 期末発行済株式数(自己株式を除く)

2007年3月期: 11,225,720株 2006年3月期: 11,227,720株



< 主な連結財政状態の概況 >

1. 流動資産 (+ 25億円)

当期末は金融機関休業日により、受取手形、売掛金が前期比で13億円増加しました。現金及び預金も前期比で10億円増加しております。

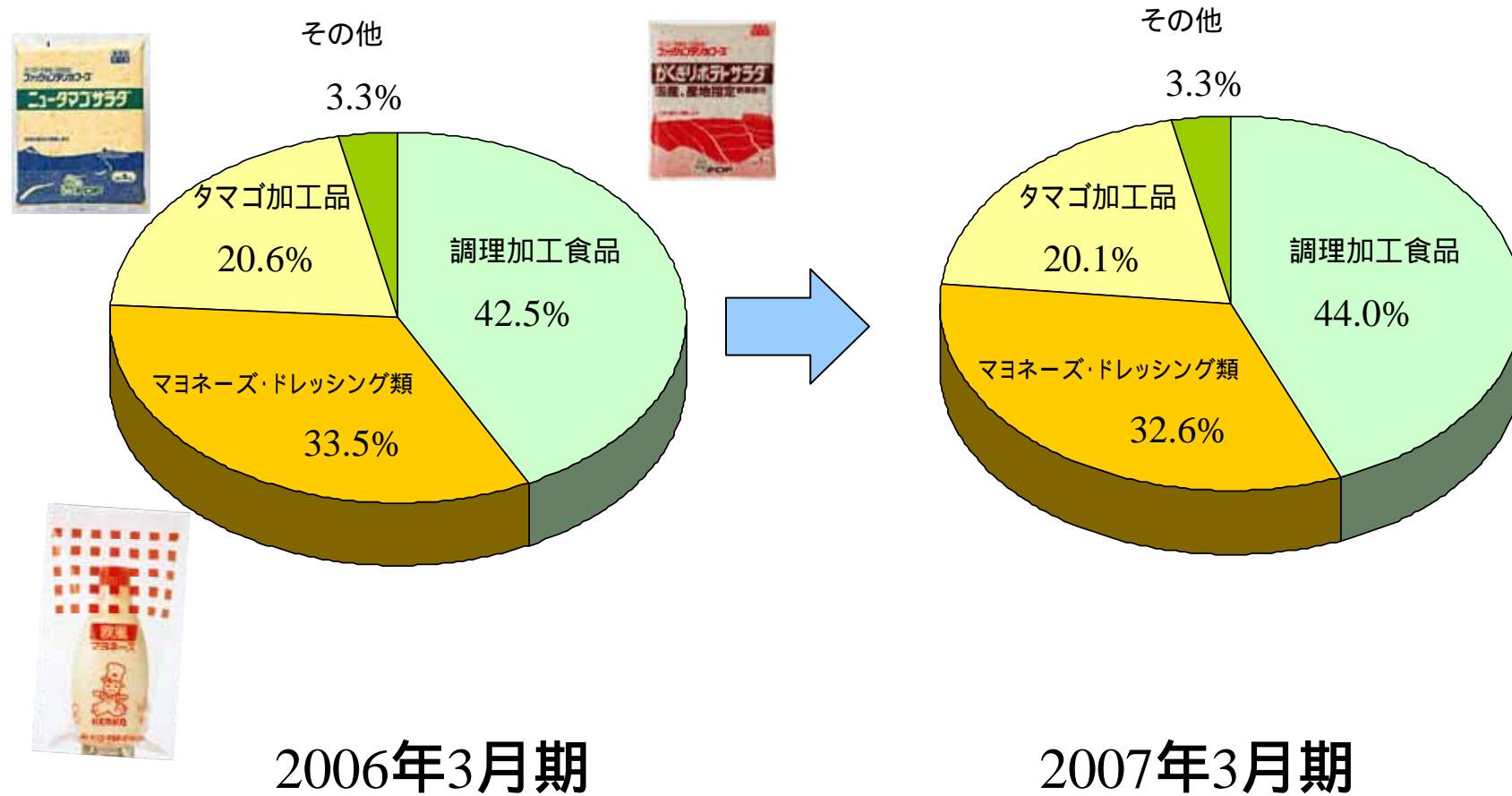
2. 固定資産 (+4億円)

当期の設備投資は、西日本工場の土地・建物の取得及び修繕的投資により、有形固定資産残高は前期比で7億円増加しました。また、投資有価証券に関して、前期末時価との評価洗替により3億円減少しています。

3. 負債の部 (+ 14億円)

当期末は金融機関休業日により、支払手形及び買掛金が前期比で17億円増加しました。有利子負債は、金利変動リスクを回避する為に、短期借入金から固定レートによる長期借入金へのシフトを実行しました。

(3) 連結売上高構成比の比較





(4) 当期における活動の概況

ISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得
…東京本社、厚木工場

Salad Cafe 高島屋京都店オープン(2006年8月)

内部統制への対応

2006年4月より全社的なプロジェクトチームを発足し、2008年度からの運用開始に備え、体制作り着手しました。

関係会社の再編

2つの事業を展開していた(株)関東ダイエツクックに関し、各々の事業に特化させる為に次の通り事業譲渡を行いました。

ケンコーマヨネーズ(株)からの生産委託事業 - ロングライフサラダ -
(株)関東ダイエツクックに事業譲渡

独自の販路による直売事業 - フレッシュサラダ -
(新)(株)関東ダイエツクックに事業譲渡



新工場設立について(京都府舞鶴市)

西日本におけるサラダ生産拠点として、2007年2月土地建物を取得し、投資総額37億円、年間生産15,000tの能力で、9月稼動を予定しております。

システムの増強

受注から納品までの事務効率の向上、及び在庫管理の強化を主な目的として、業務システムの統合・再構築を行いました。またお客様に安全で安心できる商品をお届けするために、トレーサビリティのシステムの構築を進めております。

フェアの積極的展開

三位一体経営を進化させた5つのキーワード - 上質化・和サラダ・栄養素・おかずサラダ・デザート - をテーマとして、東京・大阪を皮切りに札幌、仙台、名古屋、広島、福岡でフェア(商品・メニュー提案会)を実施いたしました。



(5) 2008年3月期の業績予想

< 連結 >

(単位:百万円)

	2008年3月期 (予想)	2007年3月期 (実績)	増 減	前年同期比
売上高	55,000	50,317	4,683	109. ³ %
経常利益	2,550	2,534	16	100. ⁶ %
当期純利益	1,350	1,714	364	78. ⁸ %

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性がございます。



2. 経営成績の推移及び 今後の経営戦略について

< 中期経営3ヵ年計画『DASH SALAD』について >



(1) 『DASH SALAD』をスタートさせた背景及び目的

当社グループにおきまして2005年度まで推進して参りました中期構造改革計画『ケンコー・リバイバル・プラン520(KRP520)』は、「事業構造の再構築」をテーマとして、収益力の強化と財務体質の改善を実現し、次なる発展へ向けての経営基盤づくりをする事が出来ました。

この経営基盤づくり完了を受けて、更なる企業価値向上と健全かつ持続的な発展の為に、新・中期経営3ヵ年計画『DASH SALAD』をスタートさせました。

(2) 2009年3月期における数値目標

連結売上高	600億円
連結経常利益	30億円
ROA(総資産経常利益率)	10%



(3) 主な取り組み内容

サラダ 1企業を目指す取り組み

本体 …… ロングライフサラダ事業・マヨネーズ・ドレッシング事業

関係会社 …… フレッシュサラダ事業

サラダカフェ …… サラダショップ事業・ウェブ事業

それぞれの機能や情報を有機的に統合する三位一体経営により、お客様によりご満足いただける情報、商品、サービスを提供いたします。また、サラダを「総菜」の一分野と捉え、「総菜」全般をお任せいただける企業を目指します。

企業価値向上及び健全な発展に向けての取り組み

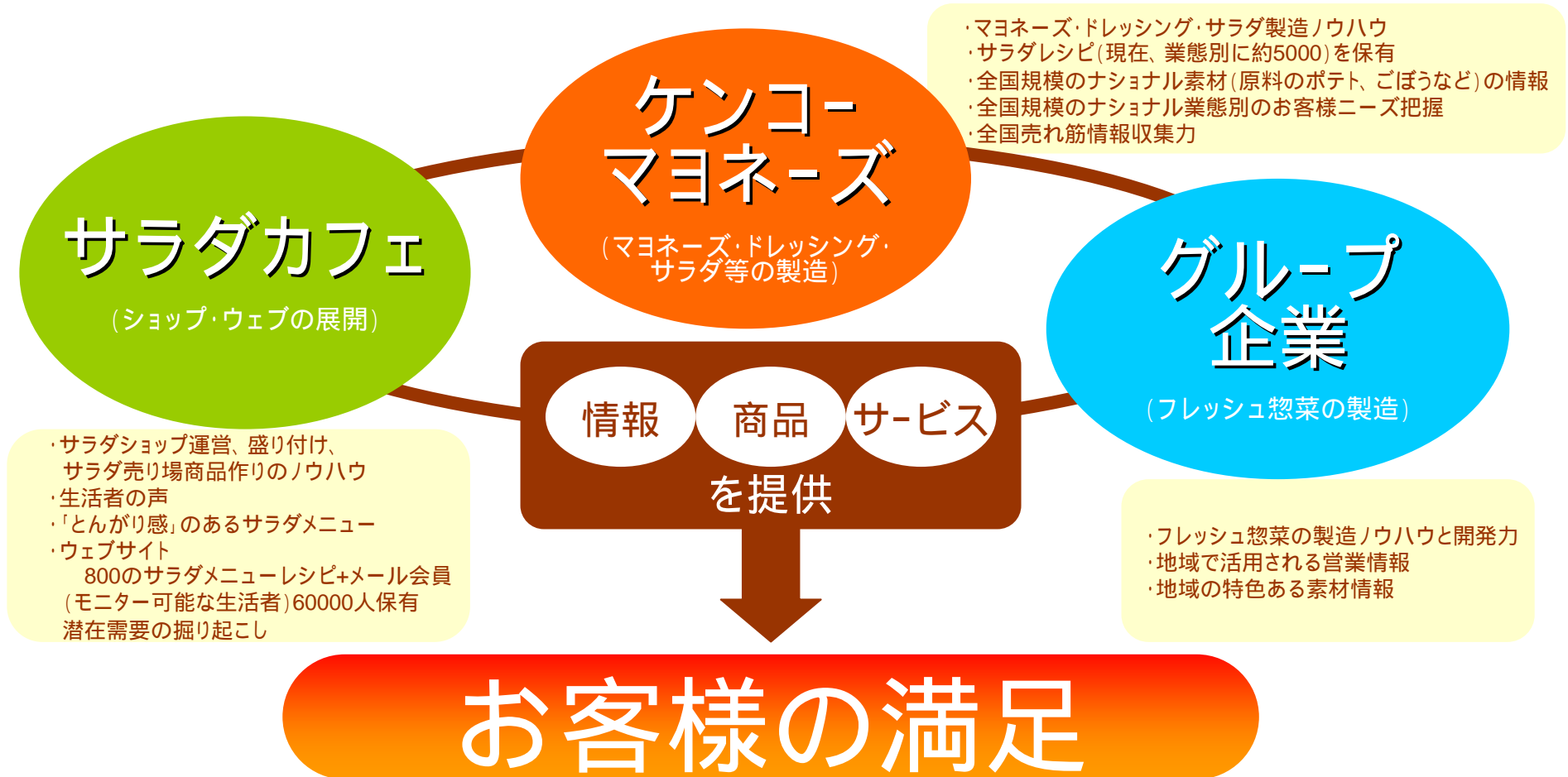
社内に「企業価値向上委員会」を設置し、IR活動の推進、リスクマネジメントシステムの構築、地域貢献活動の推進等、様々なテーマを掲げ、企業価値の向上だけでなく、企業としての健全性を確保できる体制づくりに向けて活動しております。

新規事業への取り組み

デパ地下などの直営店舗を運営するサラダカフェ事業は、当社グループの将来の成長を支える柱と位置づけており、新規の出店を進めて参ります。

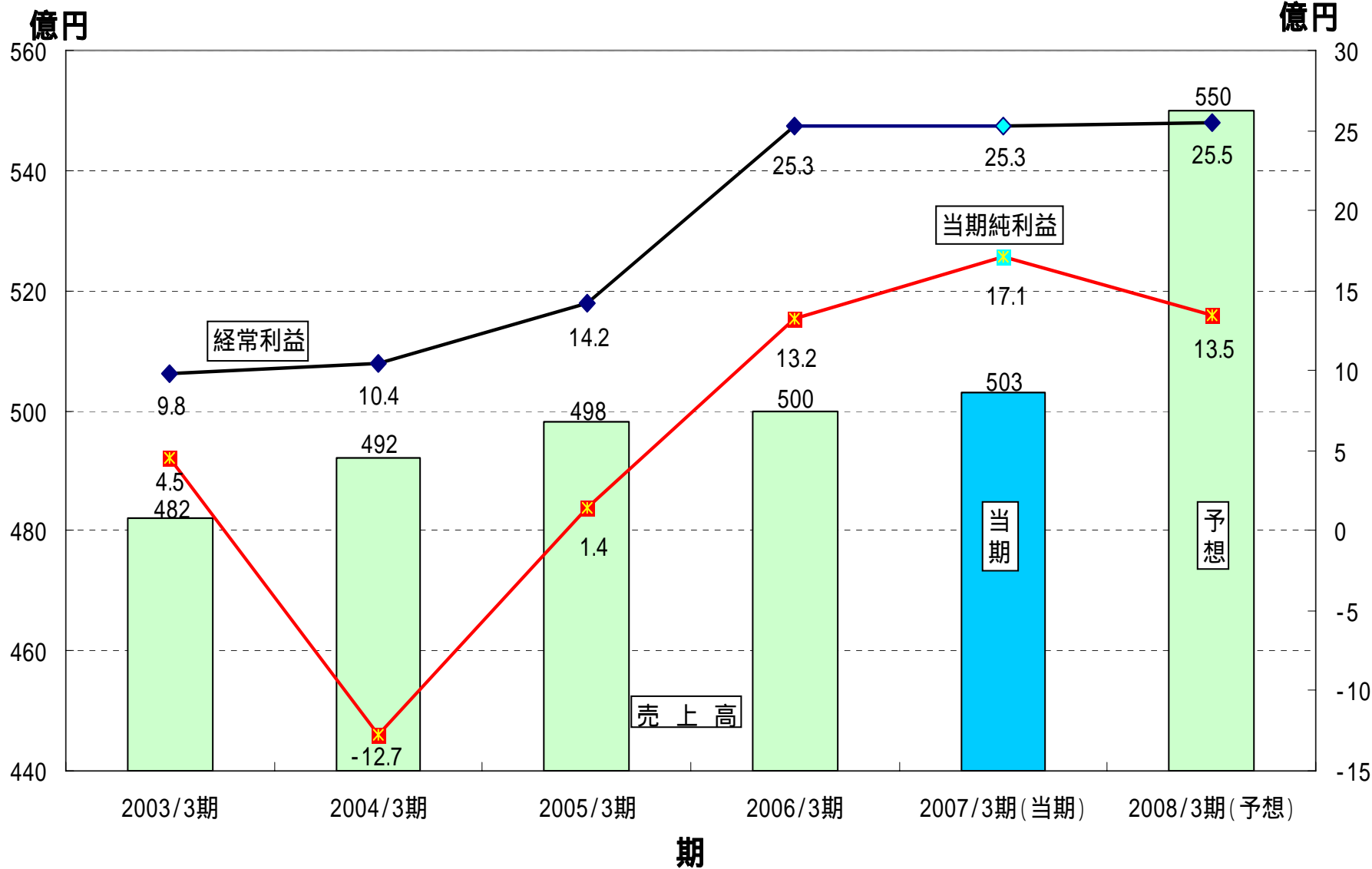
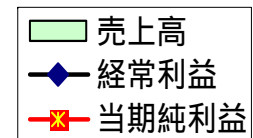
ケンコーマヨネーズグループ三位一体でのお役立ち

それぞれの機能を有機的に発揮し、潜在需要の掘り起しから商品の提供までを、お客様とのパートナーシップにより実現します。



ケンコーマヨネーズグループは、お客様(生活者)に満足いただけるよう、情報、商品、サービスを提供し続けます。

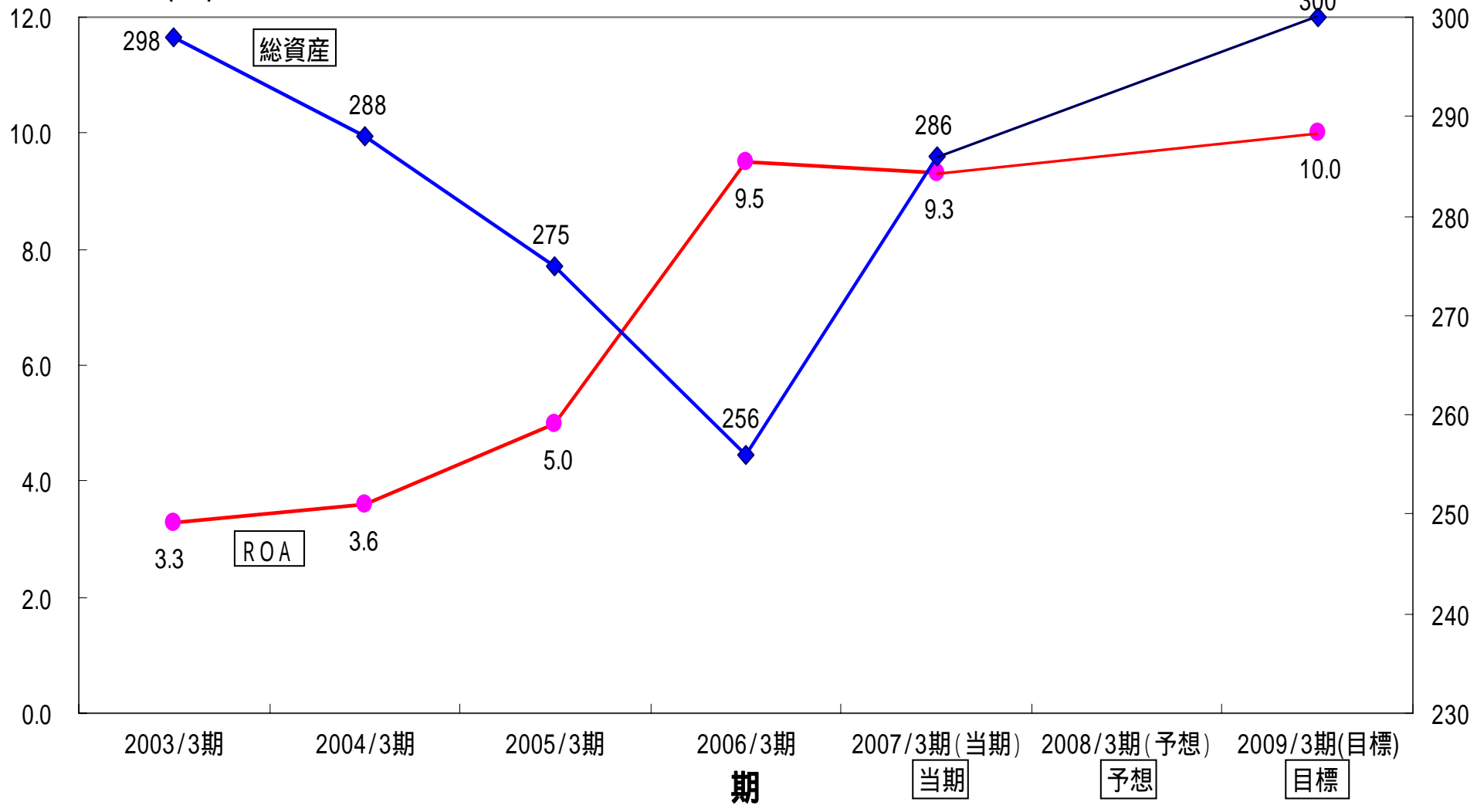
連結売上高・經常利益・当期純利益推移表



連結総資産経常利益率 (ROA)・総資産推移表

総資産経常利益率
(ROA) (%)

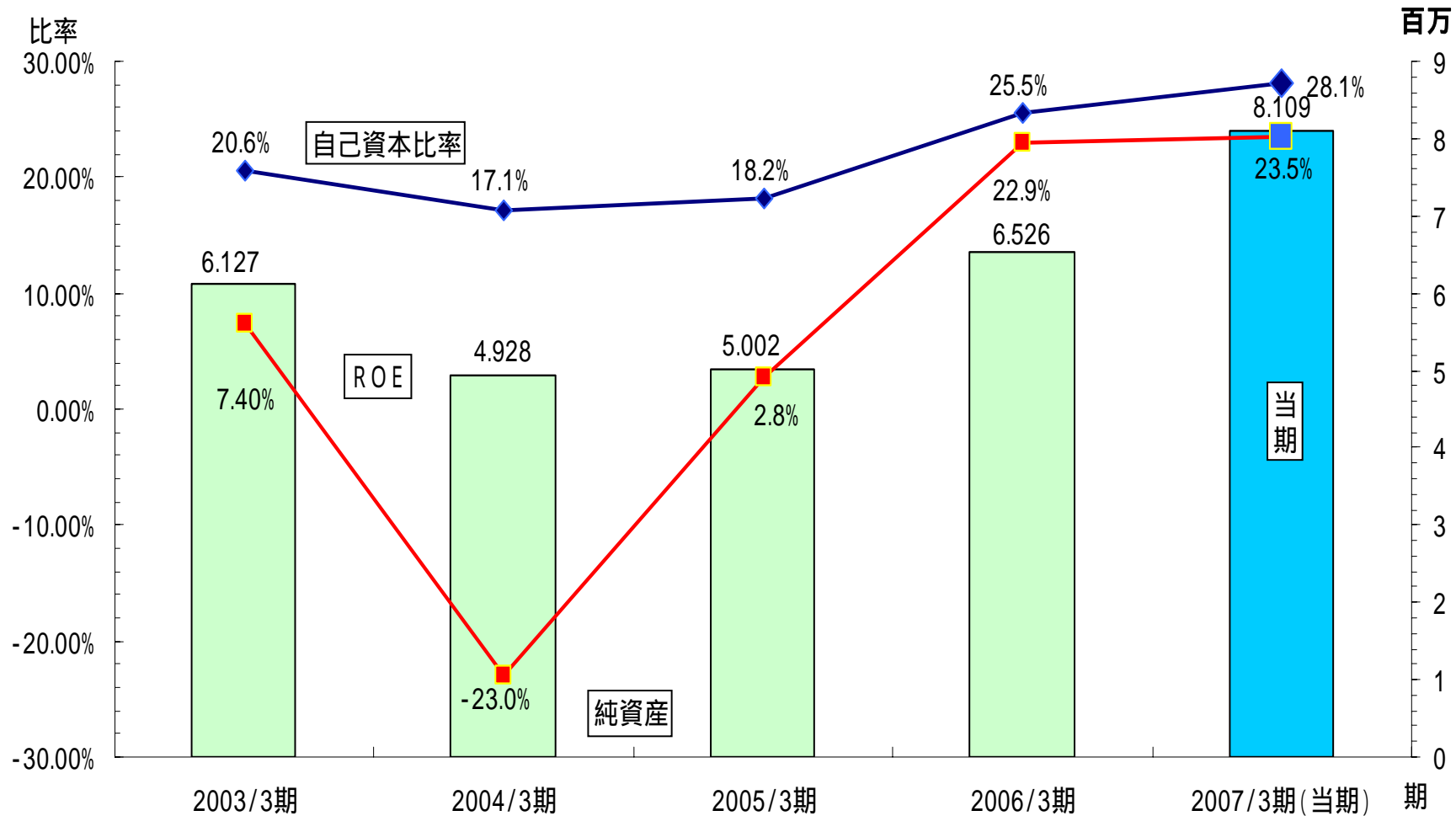
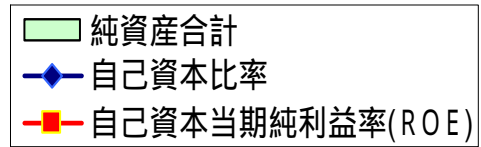
● 総資産経常利益率 (ROA)
◆ 総資産



『KRP520』による再構築の期間

『DASH SALAD』による発展の期間

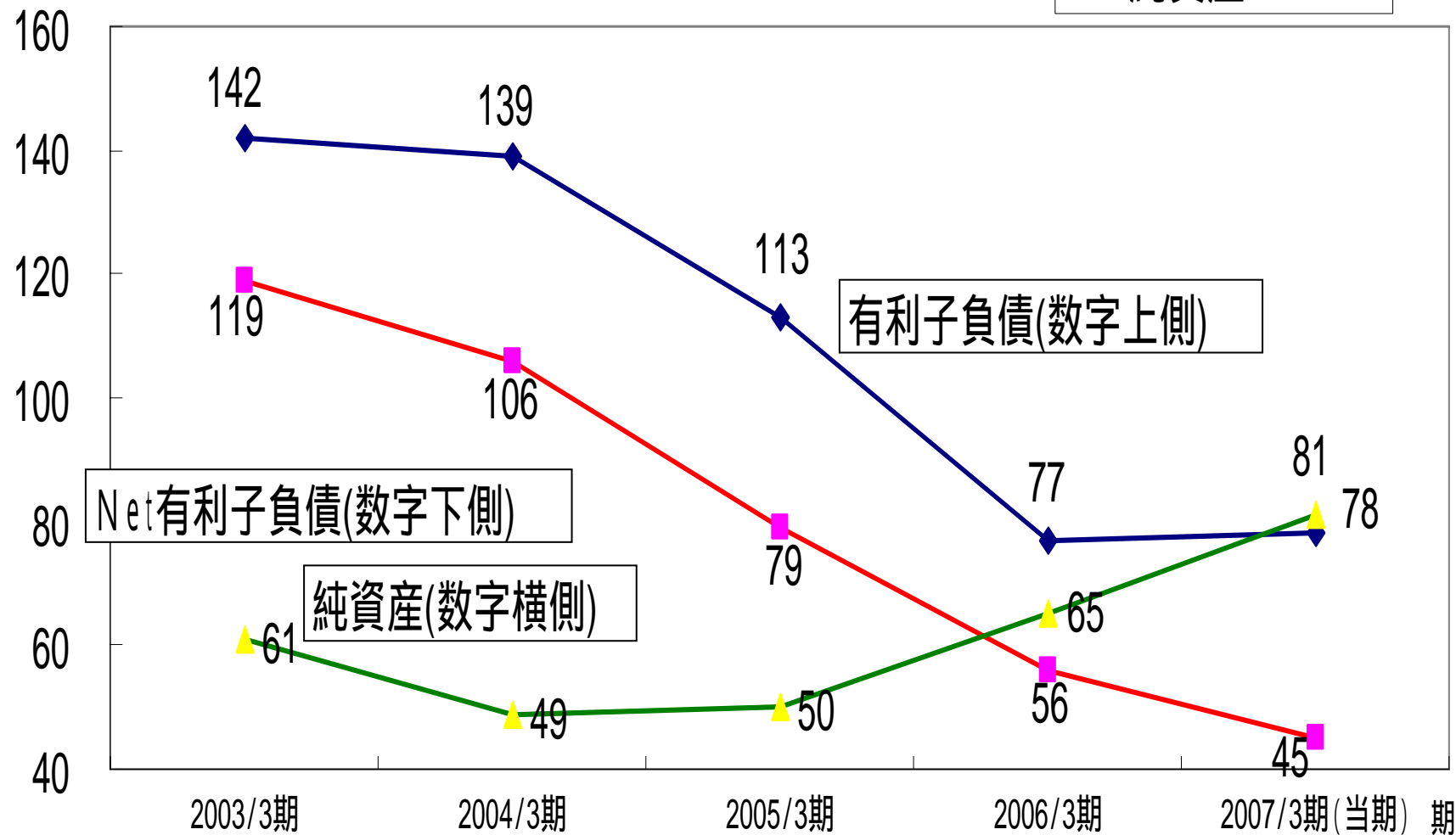
純資産、自己資本比率、自己資本当期純利益率 (ROE)



有利子負債、Net有利子負債、純資産

金額(億円)

- 有利子負債
- Net有利子負債
- 純資産



We love salad



ケンコーマヨネーズ

本資料に関するお問い合わせ

ケンコーマヨネーズ株式会社 IR室

URL: <http://www.kenkomayo.co.jp>

TEL : 03 - 5317 - 1111



Salad Cafe近鉄百貨店阿倍野店



Salad Cafe SALA PARA
阪急百貨店うめだ本店

当資料は現時点での計画、見通し、戦略など入手可能な情報から得られたものであります。実際の業績は、さまざまな重要な要因により、これら業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要素として、主要な原料でありますサラダオイル、卵、野菜に関する市場価格及び為替相場の変動等があげられます。当社の売上原価に占める原材料比率のウェイトは高く、購入価格の変動により、当社の経営成績に影響を与える可能性があります。